

かけはし

赤の3組
～ダイナミックワールド号～



▶ Central Idea
季節の移り変わりは、人々の生活に影響する

「秋のダイナミックワールド」において、〇の〇組で展開されている遊び、その遊びが始まったきっかけなど、ご紹介させていただきます。

園庭や山梨学院キャンパス、山梨森林公園「金川の森」へ出掛け、紅葉した葉っぱや木の実を見つけるたびに、「秋見つけた!」「たくさんあるね～」と言いながら、色とりどりの“秋”を見つけてきた子どもたち。集めた秋の自然物(木の実や落ち葉)を使って遊び始めました。集めた自然物(木の実や落ち葉)を使って遊んだり、お店屋さんを開いたりして、遊び始めています。

★ドングリコロコロゲーム・福笑い遊び★

赤組親子園外活動で体験したことから広がったあそび。



「面白い顔ができた!」

親子探究活動で、『金川の森』を散策した子どもたち。「楽しかったよね!」「福笑いやってみようよ」と、体験した遊びを幼稚園でも再現しはじめました。

ドングリや葉っぱ、小枝など、秋の自然物を使っての『福笑い』。「髪の毛は枝にしたよ〜」「これは妹のお顔〜」と、いろいろな顔をつくって楽しんでいます。

ドングリを転がすことが大好きな子どもたち。保育者と一緒に土台をつくり、どングりを転がすゲームに。「楽しいね!」「丸いのが早いよ〜」と、種類によって転がり方が違うことも毎回発見しています。

★ お店屋さんごっこ ★

ままごとから広がった遊び。



「梅干しおにぎりのできあがり!」

「おいしいお弁当持ってきたよ〜」と、ピクニックをはじめた子どもたち。「もっとたくさんの食べ物があったらいいな」という声が…。

新聞紙を丸めておにぎり、からあげ、ポテト、ウィンナーなどをみんなで作ることに。折り紙や絵の具で色づけし、たくさんの食べ物が出来上がりました。

つくった食べ物を並べ「いらっしゃいませ〜」「おいしいですよ」とお店屋さんもスタート。現在はドングリクッキーも加わり、お店さんはさらに盛り上がっています。

★秋の自然物をつかった3つの工作コーナー★

身近な素材や秋の自然物を使って、自由工作をしていたことから生まれた遊び。



「これはチョコ味にしよう」

エノキの落ち葉を集めて遊んでいた子どもたち。毛糸やストローも通してネックレスづくりが始まりました。

いろいろな形に切った段ボールの上にドングリをのせ、ドングリクッキーづくりもしていました。

クヌギ・シラカシ・マテバシイなど、いろいろな形のドングリをプラスチックの容器に入れ、マラカスのように振って音を楽しむ遊びも登場しました。

★大きな池の魚釣り★

日頃の遊びや工作から生まれた遊び。



「ドングリコロコロ」の歌の世界を絵に描いて遊びました。「この絵を魚釣りのお池の中に入れたら、お魚とドングリが仲良しになれるんじゃない?」との声が聞かれ…

魚釣りの池のなかにドングリを入れることにしました。すると、ドングリが魚や池の下に散らばり見えなくなるという問題発生。そこで小さな池に見立てた水色の画用紙の上にドングリを貼り付けて池にいれることに…

「お池の中にドングリと仲良しのドジョウもいたらいいよね」との意見も出され、魚と一緒にドジョウも釣れる池ができました。

★おばけごっこ★

1学期から楽しんでいた遊びや歌、運動会での親子競技を経験したことで生まれた遊び。



「おばけだよ〜!」

♪おばけなんてないさ♪の歌をうたったり、おばけが出てくる絵本をみたりして、おばけが大好きになった子どもたち。紙袋おばけになりきって遊び始めました。

「大きなおばけがあったら、もっと楽しいよね」と、みんなで大きな黒い布に目や口をつけて大おばけを作りました。グリーンデッキでは、おばけのおうちも登場。

運動会やスポーツデーで経験したバランス立ちや両足ジャンプを遊びのなかで続けて楽しんでほしいという保育者の願いから、空き箱を飛び越えるゲームを提案しました。すると、おばけの運動会が始まりました。